

ご挨拶

「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援（GO GLOBAL JAPAN）」は、経済社会の発展を牽引し、また、グローバルな舞台に積極的に挑戦することにより世界に飛躍できる人材の育成を図るため、学生のグローバル対応力を徹底的に強化し推進する教育体制の整備への支援を行うことを目的として、文部科学省が行っている大学を対象とした補助事業です。

本事業において、全国の採択大学（42 大学）を地域により 4 つのブロックに分け、西日本第 1 ブロックではタイプ A（全学推進型）に同志社大学・関西学院大学、タイプ B（特色型）に神戸大学・福井大学・鳥取大学・愛知県立大学・愛知大学・京都産業大学・立命館大学の 9 大学が採択されています。

このたび、西日本第 1 ブロック採択 9 大学は、昨年度に引き続き、第 2 回目の共同事業として、「大学が育成するグローバル人材とは（Cultivating Global Leaders: the Contribution of University Education）」をテーマに共同シンポジウムを開催いたします。本事業の開始から 2 年近くが経ったことを踏まえて、各採択大学がグローバル人材育成に向けてどのような特色ある取組を行っているのか、その過程でどのような課題をかかえ、解決しようとしているのかを主要なテーマといたしました。

今回の共同シンポジウムが、大学のグローバル化のさらなる原動力となる教育関係者や学生自身の意識向上及び情報共有の一助となることを期待しています。



神戸大学学長補佐
大学教育推進機構グローバル教育部長 阪野智一

神戸大学大学教育推進機構 グローバル教育部

TEL : 078-803-5256 E-Mail : iphe-ghrd@edu.kobe-u.ac.jp

URL : www.iphe.kobe-u.ac.jp/global



スーパーグローバル大学等事業
経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援 2014 年度西日本第 1 ブロック共同シンポジウム

大学が育成する グローバル人材とは



Cultivating Global Leaders: the Contribution of University Education

スーパーグローバル大学等事業 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援
西日本第 1 ブロック 採択 9 大学



2014 年 11 月 15 日（土） 神戸大学百年記念館 六甲ホール

基調講演～社会が求めるグローバル人材とは～

天羽 稔 氏

経済同友会教育改革委員会委員長
デュポン株式会社名誉会長



講演テーマ

変革の時代におけるグローバル人材

1802年創業のデュポンは、過去200年、市場環境の変化に大胆に対応してきた。世界のメガトレンドをたくみにとらえ、熾烈な競争市場の中で生き残るための自己変革の連鎖こそがデュポンの歴史とも言える。21世紀を向かえる今、デュポンは「ケミカルカンパニー」から「サイエンスカンパニー」に生まれ変わり、次の100年に向けた更なる成長を遂げるための事業トランスフォーメーションを展開している。世界の中で生き残り、成長する国際企業に求められる人材には、専門実務経験だけでなく国籍や国境を越えた視点でビジネスを俯瞰する能力をもち、人種や文化を超えた人間的魅力、リーダーシップが必須である。このような人材を育てるため、日本の産学が強固に連携し、厳しい国際ビジネスに通用する経験を早い段階で若い世代に提供するシステムが求められる。

天羽 稔 氏 プロフィール

1951年徳島県生まれ。阿南高専卒、ワシントン州立大学工学部修士課程修了。1979年デュポンファーマーイースト日本支社(現デュポン)入社。ポリマープロダクト事業部、エンジニアリングポリマー事業部などを経て、2006年日本法人社長、本社コーポレートオフィサー。2014年8月名誉会長に就任。2014年4月経済同友会教育改革委員会委員長就任。

高岡 浩三 氏

ネスレ日本株式会社代表取締役社長



講演テーマ

ゲームのルールを変える ～グローバルに通用するリーダーシップ～

日本の高度成長を支えたのは、「メインバンク制に基づいたニッポン株式会社モデル」「安価で質の高い労働力」「戦後の人口増加」であり、その後、成熟先進国になったが、新興国時代のビジネスモデルのままであった。日本が成長するためには、グローバルに通用する「21世紀型日本的グローバル経営」の構築を目指し、そのためには、「マーケティング」を採り入れ、変化や危機をチャンスと捉え、付加価値へとつなげることが必要である。経営は「マーケティング」の発想が重要である。製品や技術面でのイノベーションではなく、ビジネスモデルのイノベーション＝ゲームのルールを変える～が必要であり、「一人ひとりの強いリーダーシップ」～人と違うことをやり抜く、多様性を認めるリーダーシップが求められる。

高岡 浩三 氏 プロフィール

1983年神戸大学経営学部卒業後、ネスレ日本株式会社入社。2005年、ネスレコンフェクショナリー株式会社代表取締役社長、2010年、ネスレ日本株式会社代表取締役社長兼CEOに就任。「キットカット受験生応援キャンペーン」、「ネスカフェ」の新しいビジネスモデルの構築などを通じて高利益率を実現。人事や営業など管理部門も含め、あらゆる部門に「マーケティング」を採り入れ、グローバルに通用する成熟先進国ビジネスモデルの構築に力を注ぐ。経済同友会幹事。

個別発表～特色ある取組内容と到達目標の設定・評価方法～

林 以知郎 氏

同志社大学
国際連携推進機構
国際化推進室長



講演テーマ タイプA 全学推進型

グローバル・キャラクターを育む ～多様な学生資質と大規模私立大学の取り組み～

同志社大学は、経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援(全学推進型)採択を受けて、学生資質の多様性と人格形成の発展過程を踏まえながら、「留学型」及び「国内型」プログラムの有機的な連携を通してグローバル人材の養成に取り組んでいる。両プログラムともに基礎資質として多文化理解力と外国語運用能力を涵養しながら、これらの能力運用の場を国内外を問わず多彩に創出することでグローバル環境を生きる主体の育成を目指しているため、資質と環境整備の取組を中心に紹介する。

砂山 幸雄 氏

愛知大学副学長
経済社会の発展を牽引する
グローバル人材育成支援機構
構想責任者



講演テーマ タイプB 特色型(文系)

“全員留学”の次にめざすもの ～現地主義教育の展開と日本理解・発信力養成の試み～

愛知大学現代中国学部は、学部創設以来、全員留学による語学研修をベースに、フィールドワークやインターンシップなど中国現地で展開する「現地主義教育」を実践してきた。グローバル人材育成の社会的要請に応えるべく、現在新たに推進しているのが、日本理解・発信力強化のための「さくら21」プロジェクト、語学研修先の多拠点化、ダブルディグリー・プログラムなどの一連の取組である。これらを構想するにいたった経緯、現在の実施状況や課題について報告する。

中村 暢宏 氏

京都産業大学
総合生命科学部 教授



講演テーマ タイプB 特色型(理系)

京都産業大学グローバル・サイエンス・コース ～グローバル社会で活躍する理系産業人の育成に向けて～

京都産業大学は、経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援の一環として、2014年度から理学部・コンピューター理工学部・総合生命科学部と外国語学部が共同して、グローバル・サイエンス・コースを開設した。本コースは、英語を武器に国内外で活躍するグローバル人材の育成を目的としている。英語合宿の実施や、理系向けの各種英語プログラムの開設、理系向け短期留学実施など、英語学習のサポートを重点的に行うとともに、チャレンジ精神の育成を行う。これらの取組について紹介する。

パネルディスカッション～世界に飛躍するグローバルリーダー～

パネリストに聞きました・・・あなたが思う「グローバル人材」とは？

英語能力だけでなく
自国の良さをよく知った上で異文化を受け入れ、国際社会に貢献できる活動をしている人。

様々な価値観を持つ人々と円滑な意思疎通ができ、そのような人々として繋がることのできる人。

日本の素晴らしさを世界に発信できる人。グローバル人材は国際的な教養も備えていなければならない。

どんな場所でも同じクオリティの仕事ができ、自分の意見が主張できる人。相手の意見や文化的背景に理解がある人。

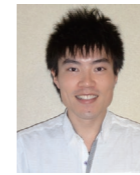
色々なことに興味を持ち積極性があり、様々なコミュニケーションにより自分の意見を伝えることができる人。

村上 優



関西学院大学
社会学部 社会学科 4年

奥本 光軌



福井大学
大学院工学研究科 博士前期課程 生物応用化学専攻 1年

清水 滝介



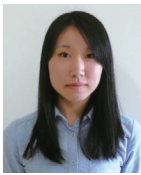
鳥取大学
工学部 社会開発システム工学科 4年

山下 彩



愛知県立大学
外国語学部 ヨーロッパ学科
ドイツ語圏専攻 4年

坂野 加奈



立命館大学
情報理工学部 情報システム学科 3年

プログラム

大学が育成するグローバル人材とは

12:40～12:45

「開会挨拶」

藤田 誠一 神戸大学 理事・副学長

12:45～13:45 第一部

「基調講演」～社会が求めるグローバル人材とは～

Ⅰ 天羽 稔 経済同友会教育改革委員会委員長(デュポン株式会社名誉会長)
変革の時代におけるグローバル人材

Ⅱ 高岡 浩三 ネスレ日本株式会社代表取締役社長
**ゲームのルールを変える
～グローバルに通用するリーダーシップ～**

13:50～14:50 第二部

「個別発表」～特色ある取組内容と到達目標の設定・評価方法～

タイプA 全学推進型

グローバル・キャラクターを育む
～多様な学生資質と大規模私立大学の取り組み～
同志社大学 国際連携推進機構 国際化推進室長 林 以知郎

タイプB 特色型(文系)

“全員留学”の次にめざすもの
～現地主義教育の展開と日本理解・発信力養成の試み～
愛知大学副学長/
経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援構想責任者 砂山 幸雄

タイプB 特色型(理系)

京都産業大学グローバル・サイエンス・コース
～グローバル社会で活躍する理系産業人の育成に向けて～
京都産業大学 総合生命科学部 教授 中村 暢宏

14:50～15:30 Coffee break

各取組大学の学生によるポスターセッション

15:30～17:00 第三部

「パネルディスカッション」～世界に飛躍するグローバルリーダー～

コーディネーター 阪野 智一 神戸大学 学長補佐

パネリスト 天羽 稔 / 高岡 浩三
関西学院大学 社会学部 4年 村上 優
福井大学 大学院工学研究科博士前期課程 1年 奥本 光軌
鳥取大学 工学部 4年 清水 滝介
愛知県立大学 外国語学部 4年 山下 彩
立命館大学 情報理工学部 3年 坂野 加奈

17:00～17:20

「総括・閉会挨拶」

阪野 智一 神戸大学 学長補佐

17:30～19:00

「情報交換会」

会場：神戸大学瀧川記念学術交流会館
会費：1,000円

情報交換会 会場



神戸大学関係者がシンポジウム開催風景を撮影する場合がございます。この映像・写真は開催風景の記録DVD等に使用するほか、事業広報のため神戸大学および各取組大学のホームページ、印刷物等に掲載される場合がございますのでご了承ください。